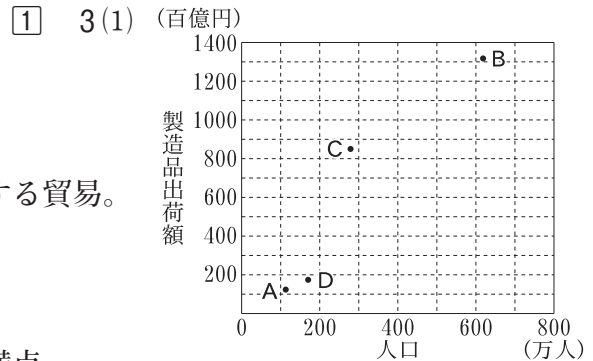


〈解答〉

- ① 1 海溝
 2 イ
 3 (1) 右図 (2) ウ
 4 〔例〕 原材料を輸入して、製品を輸出する貿易。
 5 津波



配点 ① 2, 5 は各 1 点, 他は各 2 点 10 点満点

〈解説〉

- ① 1 海溝とは、水深 6000m 以上の細長い海底地形である。東日本の太平洋沖から伊豆諸島、小笠原諸島の東側に沿って、深さ 8000m をこえる世界有数の海溝がある。
- 2 ● は山がちな地域に分布していることから、アカイにしぼられる。さらに富士山近辺に●がないことからアが除かれる。水力発電は、川や湖などで水位の落差を利用して、発電機を回転させて電気エネルギーをつくる発電方法である。日本は山地が多く、降水量も多いので、水力発電が 1960 年ごろまでは主体であったが、その後、火力発電が中心になった。
- 3(1) 2 表の人口を横軸に、製造品出荷額を縦軸に当てはめればよい。
- (2) A は秋田県で米の産出額が最も多いウ、B は千葉県でエ、C は広島県でイ、D は鹿児島県で、ほぼ全域がシラスとよばれる火山灰土におおわれていて、水はけがよすぎるため水田に適さないため、米の産出額は少ない。代わりに畑作や家畜の飼育が盛んで、肉用牛の産出額は全国の約 17%、豚は約 12%、鶏は約 10% (2013 年) を占める。
- 4 加工貿易は、原材料は少ないが、工業が発達し、技術的水準が高い先進工業国に見られる。加工貿易の盛んな国では、輸入品は原料が多く、輸出品は工業製品が多い。
- 5 地震は揺れによる破壊だけでなく、土砂くずれや地盤の液状化現象などをおこす。震源が海底の場合、津波がおこることもある。国や県、市町村では、防災マップ〔ハザードマップ〕を作るなど、災害がおこったときのための対策も進められている。